

## 第4章 試験検査

試験検査業務は、行政検査と依頼検査に大別される。

行政検査としては、健康危機管理に伴う検査、食品保健に係る検査、水質検査、臨床検査等を行った。

依頼検査としては、食品検査、水質検査等を行った。

### 第1節 行政検査

#### 1 健康危機管理

(感染症、食中毒等関連検査)

感染症や食中毒など健康危機の発生に対し、保健所は、迅速に原因を究明し、健康被害の拡大を防止するための初動検査を実施している。

健康被害の発生に伴い、検便や食品等検体について関係項目の検査を実施した(表1)。

このうち健康被害の原因と判明した病原微生物について示す(表2)。

表1 健康被害発生に伴う検査

令和4年度(単位:件)

検体の種類		便・菌株	食品等	ふきとり	浴槽水	計
検体数		70	10	10	13	103
検査項目	生菌数	-	6	-	-	6
	腸管出血性大腸菌	70	3	10	-	83
	病原性大腸菌	26	6	10	-	42
	大腸菌	-	3	-	-	3
	大腸菌群	-	3	-	-	3
	サルモネラ属菌	26	3	10	-	39
	腸炎ビブリオ	26	3	10	-	39
	黄色ブドウ球菌	26	6	10	-	42
	カンピロバクター	26	3	10	-	39
	セレウス菌	26	6	10	-	42
ウェルシュ菌	26	3	10	-	39	

赤痢菌	3	3	-	-	6
ノロウイルス	15	-	-	-	15
<i>K. septempunctata</i>	-	4	-	-	4
レジオネラ属菌	-	-	-	13	13

ノロウイルス、クアア、レジオネラ属菌検査については保健環境センターで実施

表2 健康被害の原因と判明した病原微生物

令和4年度

発生日	検体	病原微生物
R4.5	食品	<i>Kudoa septempunctata</i>
7	便	腸管出血性大腸菌 026:H11 (VT1)
7	便	腸管出血性大腸菌 0157:H7 (VT1, 2)
8	便	腸管出血性大腸菌 OUT:HUT (VT1)
9	便	腸管出血性大腸菌 0157:H7 (VT2)
9	便	腸管出血性大腸菌 0157:H7 (VT2)
9	便	<i>Salmonella Enteritidis</i>
10	便	<i>Streptococcus aureus</i>
10	便	腸管出血性大腸菌 091:H14 (VT1)
11	便	<i>Campylobacter jejuni</i>
12	便	腸管出血性大腸菌 0146:H21 (VT2)
12	便	腸管出血性大腸菌 091:H14 (VT1)
R5.1	便	腸管出血性大腸菌 026:H- (VT1)
3	便	腸管出血性大腸菌 05:H-/Hg9 (VT1, 2)

## 2 食品保健

食品製造事業者等に対し、夏期、秋期及び年末の食品衛生一斉監視指導に伴う収去食品について、細菌検査を実施した（表3）。

表3 食品衛生一斉監視指導等による収去検査

令和4年度（単位：件）

区 分	食 品		合 計	
	成 分 規 格	県 指 導 基 準		
検 体 数	40	62	102	
検 査 項 目	細菌数(生菌数)	11	62	73
	大腸菌群(定性)	21	30	51
	大腸菌(定性)	-	32	32
	大腸菌(定量)	4	-	4
	腸管出血性大腸菌	-	-	-
	サルモネラ属菌	-	47	47
	黄色ブドウ球菌	-	47	47
	カンピロバクター	-	-	-
	腸炎ビブリオ (定性)	-	-	-
	腸炎ビブリオ (定量)	10	-	10
	恒温試験及び 細菌試験	9	-	9

## 3 水質検査

管内3ヶ所の海水浴場で、海水浴場開設前と開設中のそれぞれについて、1日あたり2回を2日間採水し、水質検査を実施した（表4）。

表4 水質検査 令和4年度（単位：件）

区 分		海 水 浴 場 水
検 体 数		24
検 査 項 目	水素イオン濃度	24
	化学的酸素要求量	24
	糞便性大腸菌群数	24
	腸管出血性大腸菌O157	6

腸管出血性大腸菌O157 検査については保健環境センターで実施

## 4 臨床検査

HIV抗体検査として、免疫クロマトグラフィー法によるHIV迅速検査を109件実施した。